

実践報告

創造性を育むツールとしての看図アプローチ —絵本づくり授業実践の報告—

石田ゆき¹⁾・山下雅佳実²⁾・鹿内信善³⁾

キーワード：看図アプローチ・創造性・創造的思考・ジェネプロアモデル・協同学習

1. 背景と目的

文部科学省は、2011年に創造的思考力を育成するための教養教育の重要性を示し、2017年には批判的・創造的思考力の醸成を看護基礎教育に求めた。また、日本看護系大学協議会(2018)は、学士力である「統合的な学習経験と創造的思考力」が看護基礎教育の到達となる「看護学・専門職としての学びの統合」に相当する重要なものであるとしている。しかし、看護における創造的思考力に関する研究は少なく、その育成に焦点をあてたものはない。看護教育における創造的思考力の育成方法は、いまだ未開拓の領域になっている。

そこで筆者らは現在、「看護に必要な創造的思考力の育成—『看図アプローチ』を活用した教材・授業開発—」というテーマで、科研費の助成を得た研究を行っている。その研究成果の一部を報告する。ただし、本稿では、「看護」の隣接領域である「理学療法」および「作業療法」を専攻する学生たちを学習者とした教材開発・授業開発実践を紹介する。そのことによって、看護学専攻学生の創造的思考力を育成するための「看図アプローチ」を活用した授業づくりモデルを提供していく。なお「看図アプローチ」とは「みること」を重視した授業づくりの方法である。看図アプローチには、ビジュアルテキストを読み解き、読み解いた内容を何らかのかたちで発信していくプロセスを含んでいる。

看図アプローチは Finke ら (邦訳 1999) の創造

的思考に関するジェネプロアモデルを理論構成の基盤としている。ジェネプロアモデルでは、創造的思考を「発明先行構造生成段階」と「発明先行構造探索段階」に分離した2段階モデルで説明している。何かを創造する人は、まず生成段階において「創造的発見を促進するようなさまざまな特性をもつ発明先行構造 (preinventive structures) と呼ばれる心的表象を構築する。(Finke 他邦訳 1999,p.19)」発明先行構造を生成したら学習者はそれを探索したり解釈したりする。これが探索段階である。この2段階を経て創造的作品が生み出されていく。

またジェネプロアモデルでは、「創造的探索と解釈に貢献する発明先行構造の六つの特性」を考えている。それらは斬新性 (novelty)・あいまい性 (ambiguity)・暗示的有意味性 (implicit meaningfulness)・創発性 (emergence)・不調和性 (incongruity)・拡散性 (divergence) である (Finke 他邦訳 1999,pp.25-26)。

看図アプローチも Finke らの2段階モデルを採用している。看図アプローチがジェネプロアモデルと異なるのは2段階のうちの生成段階を授業者が代行する点である。看図アプローチでは授業者が、斬新性・あいまい性・暗示的有意味性・創発性・不調和性・拡散性などの特性をもったビジュアルテキストをあらかじめ作成しておく。このような特性を備えたビジュアルテキストは学習者にとって発明先行構造となる。学習者は、授業

1) 日本医療大学

2) 中村学園大学短期大学部

3) 天使大学

者の発問や指示に触発されて、授業者から呈示されたビジュアルテキストを探索・解釈し、新しい意味を創造していく。

以上の理論モデルにしたがって構成された授業を体験することによって、学習者の創造的思考力が育まれていると仮定される。このような理論的背景をもつ授業を構成し、実践したのでそれを報告していく。

II. 授業の実際

授業者・学習者・ビジュアルテキスト等

本稿第 1 筆者石田が担当する「教育心理学」15 コマ中の 2 コマを 1 ユニットとした授業実践である。授業者は石田、学習者は理学療法・作業療法を専攻する A 大学 2 年生 57 名である。授業は学期はじめに呈示してあるシラバス内容にしたがって行った。本稿で紹介する 1 ユニット 2 コマのシラバスは次のようになっている。「内面表出エクササイズと教育心理学的意義①②」。授業 2 コマで活用するビジュアルテキストはすべて石田が制作したオリジナル作品である。

II-1 1 コマ目授業

1 コマ目の課題

1 コマ目では 3 つの課題を用いた。これらの課題は、鹿内（2010）で紹介されているものである。したがって 1 コマ目の授業は鹿内（2010）の追試としての意味ももっている。また 2 コマ目の看図アプローチを活用した絵本づくりの導入課題にもなっている。1 コマ目では各課題とも協同でのビジュアルテキスト読解活動を何度も取り入れ、看図アプローチ協同学習に習熟していく時間とした。（90 分）

課題 1 では次の絵図（図 1）と教示を用いた。

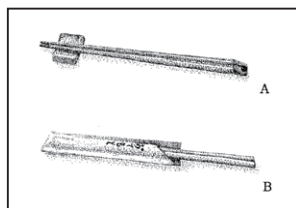


図 1 箸

【課題 1 教示】

箸 A と箸 B が、自分を自慢したり、相手をからかったり、けなしたりして戯れています。その雰囲気が伝わるように、箸 A と箸 B の会話を書いてください。

課題 2 では次の絵図（図 2）と教示を用いた。

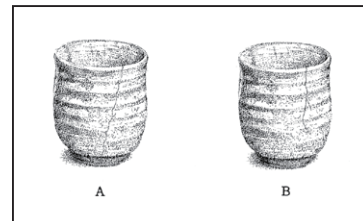


図 2 茶碗

【課題 2 教示】

カップルで食事に行きました。そのときお茶が出てきました。どちらの茶碗にも少しひび割れが入っています。どちらのひび割れも模様のように趣があります。そこで、彼氏が聞きました。「君、どっちの模様が好き？」彼女はしばらく考えて言いました。「(AorB) の方かな…」彼は「どうして？」と聞きました。このあとの会話を考えてください。

課題 3 は少し複雑なので手順を詳述していく。課題 3 では学習者たちに点描画を制作してもらう。そのために 120 枚の落花生の写真を用意する。学習者たちには好きな写真を選んでもらう。一例を図 3 に載せておく。その写真にトレーシングペーパーを重ね、点を打っていく。それによって点描画を完成させる。点描画が完成したら次の教示を与える。



図 3 落花生写真の一例

【課題 3 教示】

自作の点描落花生の雰囲気に合った会話文を書いてください。

1 コマ目授業結果

課題 1・課題 2・課題 3 で学習者たちが産出した作文例を以下に載せておく。課題 3 については点描画も載せておく。

課題 1－学習者 1 の作文例

- A「B!! どうだ、このオレの圧倒的なランクの高さが分かるかな？」
 B「なにになに？どこが？」
 A「は一、これだから庶民は…コレだよコレ！オレの頭の下にある箸置き！」
 B「ああ～それか！」
 A「ふふ～すごいだろ、箸置きがあるオレはもう上流階級の人間も同然。B も今日からオレを敬い給え！」
 B「わーすごい憧れちゃうなー。」（棒読み）
 A「そうだろうそうだろう♪しかもこの箸置き、箸先をテーブルに直接付けないから衛生面も配慮しているのだよ！」
 B（いや衛生面なら常に箸袋に包装されているボクの方が全方向からカバーしているし優秀だと思うけどね…）「すごいねー。」

課題 1－学習者 2 の作文例

- A「おい、B、お前わりばしだろ？ダサくね？」
 B「なんだと!? ちょっと高価だからってナメんなよ？」
 A「だってお前、一度使われたらだいたい捨てられるだろ。」
 B「確かに…。でもよく台所で菜箸代わりにもなるんだよ!! お前こそ、食洗器とかで洗えないだろ!! 主婦の敵め!!」
 A・B「なんだとー!! うるせー!!」

課題 1－学習者 3 の作文例

- B「Aくんまた筋トレしてるの？」
 A「そうだよ、君も、服ばかり着てないで筋トレしようよ。」
 B「今は春だけど、服着ないのは寒すぎるし…。しかも足ばかり筋トレしてるじゃない

か。」

- A「いいじゃないか、足の筋肉は大切だよ。今度は君も一緒にやろう！」

課題 1－学習者 4 の作文例

- B「君、布団がなくて寒そうだね。」
 A「君だって枕(箸置き)がなくて疲れるだろ？」
 B「僕は寒いのが嫌いだから布団があれば充分さ!!」
 A「でも君は 1 回使って捨てられるだけじゃないか！」
 B「君みたいに毎日水で洗われてボロボロになるまで使われるよりは 100 倍ましだよ！」
 A「僕は大切に長く使われたいけどな～。」
 B「僕はリサイクルされているんな物に变身したい！」
 A「お互いに自分の良い方になって良かったな…」
 B「頑張って生きていこうね。」

課題 2－学習者 5 の作文例

- 彼女「＜A＞の方かな。」
 彼氏「どうして？」
 彼女「だって模様をよーく見てみて。ひびが途中で 2 つに分かれているの。」
 彼氏「あ、本当だ。」
 彼女「何だか、嫌じゃない？道が 2 つに分かれている気がするの。」
 彼氏「僕たちのこと？」
 彼女「そう。私たちも B のように、別々になりたくないから…」
 彼氏「僕らならきっと、A のように 1 つの道を歩んでいけるよ。」

課題 2－学習者 6 の作文例

- 彼女「＜A＞の方かな。」
 彼氏「どうして？」
 彼女「まっすぐ、線が入っているの素敵じゃない？」
 彼氏「なるほどね。僕は B の方がいいと思う

な。」

彼女「どうして？」

彼氏「たしかに A は、まっすぐ線が入っていて芯が通った人のような性格していると思うんだ。だけど、辛い時ひとりでいると下までついて割れてしまう。B のように一緒にいて支えてくれる人がいると割れずにすむと思うんだ。」

彼女「そういう考えステキね。」

課題 2－学習者 7 の作文例

彼女「＜B＞の方かな。」

彼氏「どうして？」

彼女「A の方は底の方までヒビが行ってて今にも壊れそうでしょ？」

彼氏「ほんとだ、これじゃケガしちゃうね。」

彼女「それにね、B の方もヒビ割れはあるんだけど、形が手をつなごうと差し出している左手に見えて、少しカワイイって思ったの。」

彼氏「ほんとだ、そう見えるかもしれない。なんだか温かさを感じる良い茶碗に見えてきたよ、センスあるね!!」

彼女「でしょ！」

課題 2－学習者 8 の作文例

彼女「＜B＞の方かな。」

彼氏「どうして？」

彼女「B の方が途中でヒビが終わってるでしょ。」

彼氏「そうだね。」

彼女「この途中で終わっているヒビがこれから先どの方向に行くのか分からなくて、人生みたいで素敵なのよ。」

彼氏「なるほど。素敵だね。」

彼女「うん。B のヒビがこれから先どの方向に進んでいくかなあ。」

彼氏「俺はこっちに進むと思うな。」

彼女「私はこっちかな。」

課題 3－学習者 9 の点描作品および作文例



A「B！意識をしっかりとって！」

B「僕はもうダメだ。A。そう長くない…見ての通り左側が透けて消えていってる。」

A「そんなこと言うな！僕らはいつも 2 人一緒だったじゃないか！」

B「自分の寿命くらい自分で分かるさ。ほらどんどん影が消えていく。今まで楽しかった…ぜ。ありがとう」（消えていく）

A「B い———！」

課題 3－学習者 10 の点描作品および作文例



(左から A・B・C)

A「こっち向きで寝るとおちつくよね。」

B「うん。でも、さっきから C がだんだんこっちに近づいてくるんだ。せまいなあ。」

A「C はもう寝ているの？」

C「Zzz…」

B「もう眠っているね。」

A「そうだね。僕たちもそろそろ寝ようか。」

B「うん。おやすみ。」

A「おやすみ。」

A・B・C の心『明日の豆まき成功しますように。』

課題 3 ー学習者 11 の点描作品および作文例



右「なんでここにいるんだろうな。」

左「たしかに。」

右「というかなんで、何気なくテーブルの上
…？に置かれてんだ？」

左「なんか写真撮られたしね。」

右「えっと、こういうのは盗撮って言うのか？」

左「いや、でも俺たちピーナッツですよ？」

右「あ、そうか。いやでも人権？いや、ピーナツ
ツ権というものがな。」

左「そもそも豆に権利ってあるんですか？」

右「あんじゃないの？」

左「じゃないのって…適当ですねえ。」

右「まあな。」

左「あっ、人の手が近づいてきてる。」

右「あれ、俺たちつかもうとしてない？」

左「やばい、そうみたいです。」

右「いやいやいや、やめろ!!」

左「たす、たす、たすけっ…」

2 人「うわあああああー——」

II-2 2 コマ目授業

授業の手順

2 コマ目では協同学習は行わず、個人で看図アプローチを活用した絵本づくりを行わせた。協同学習を授業に取り入れている教師は、毎時間毎時間協同学習を取り入れた授業を行うことが多い。しかし、協同学習を取り入れた時間と取り入れない時間を組み合わせて 1 ユニットの授業を構成することも可能である。今回はこのタイプの授業を行った。

2 コマ目の課題は次のようにして行った。

①絵本の各ページになる白紙用紙（B6 サイズ）を 9 枚ずつ配付する。

②「きゅうちゃん（看図アプローチ用に開発したキャラクター）」絵図 440 個が印刷された絵図シート（A4 サイズ 7 枚）を配付する（図 4～図 10）。

③教示ー「このきゅうちゃんをどれだけ使ってもいいです。きゅうちゃんを切り取って使ってください。テーマも自由です。色々なものを描き足して絵本づくしていきましょう。絵におはなしをつけましょう。」

④このあと絵本の見本を例として呈示する。

⑤学習者は各自で絵本制作を行っていく。（90 分）

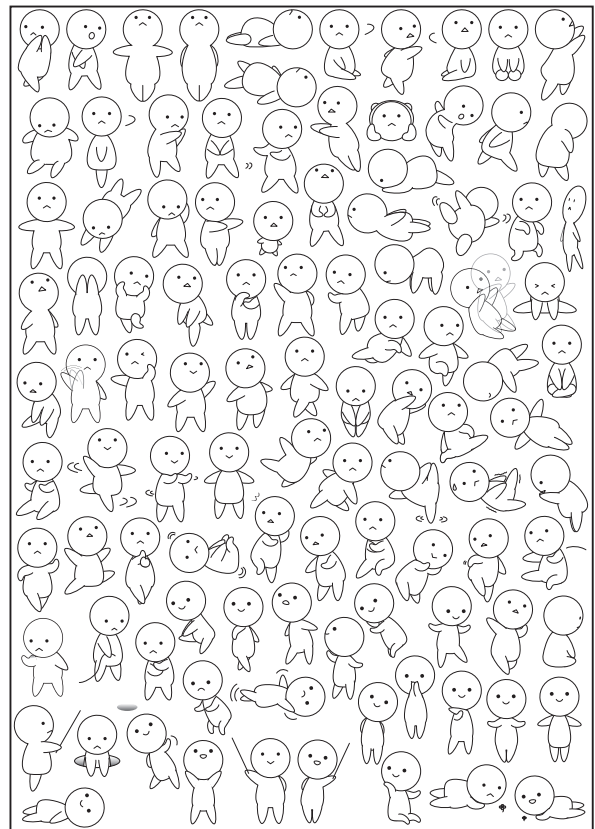


図 4



図 5



図 7

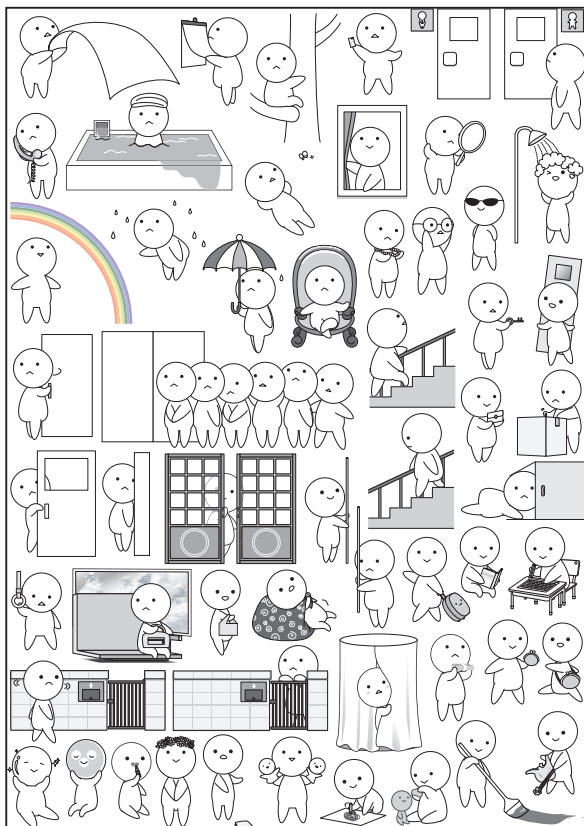


図 6

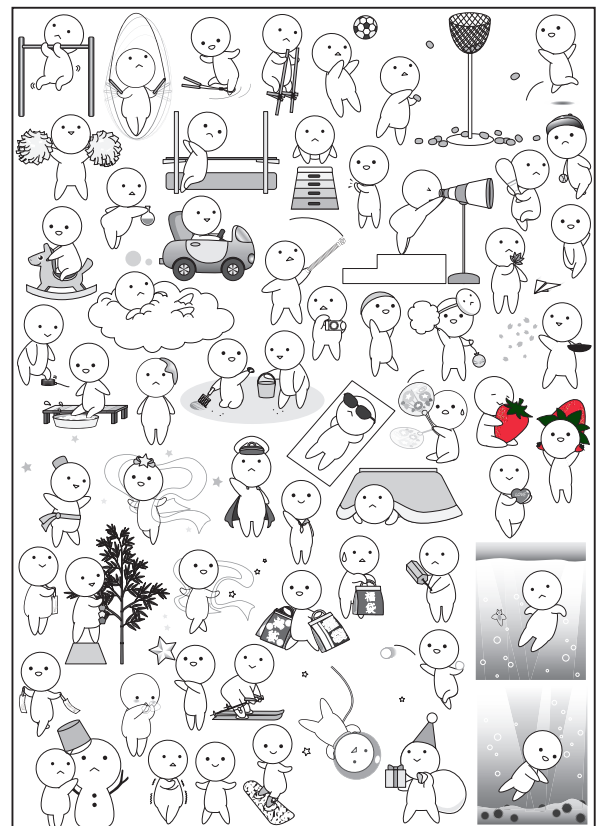


図 8

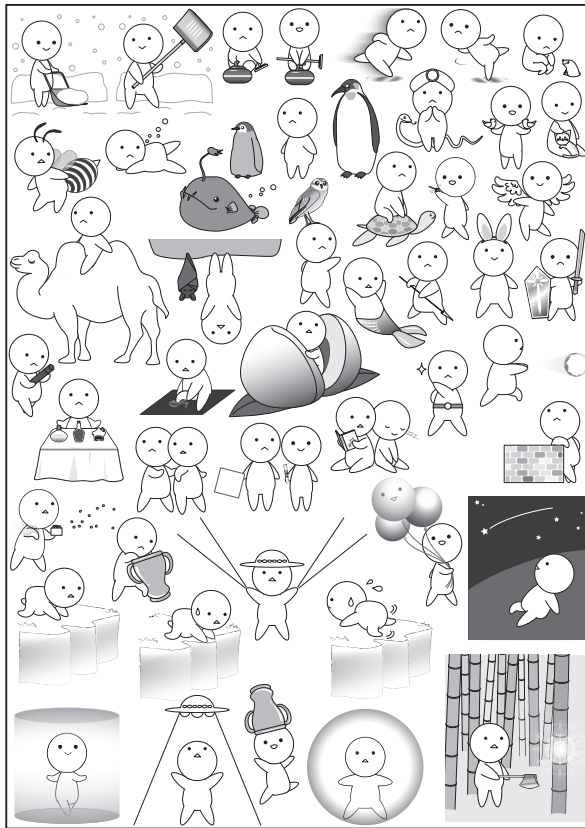


図 9

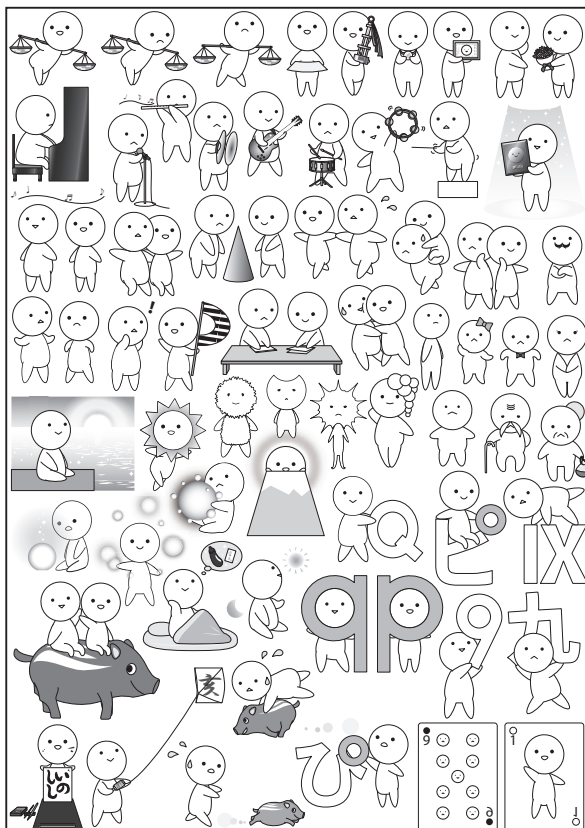


図 10

2 コマ目授業結果

学習者たちが産出した絵本作品例を以下に載せておく。なおこれらの作品は、文字部分を手書きで提出されたものをもとに第1筆者石田が「イラストレーター」で体裁を整えたものである。

2 コマ目授業—学習者 12 の作品例

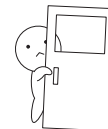
ぼくのゆめ ✨



1人っ子のきゅうちゃんは
いつも1人で遊んでいます。

今日も、絵を描いたり、
本を読んだりしていました。

するとそこに…



長旅から帰ってきた従兄弟の
きゅう兄ちゃんが現れました。



きゅうちゃんはとても嬉しくて
とびあがりました。

「おかえりー!!」



きゅう兄ちゃんはたくさんのおみやげとして、自然の偉大さや、人のあたたかさにつれたことをおしえてくれました。



はじめは楽しく話をきいていた
きゅうちゃんでしたが、



キラキラしているきゅう兄ちゃんを見て、
なんだか遠くにいったしまったような
そんなきもちになりました。



あるとき、きゅうちゃんは
ケガをしてしまいました。



そこに 偶然 現れた
セラピストの人が優しく
手当てしてくれました。

なんて ステキな人なんだろう。

ぼくもこんな人になりたい!!

きゅうちゃんが泣いていることに
気がついたきゅう兄ちゃん。
少しびっくりしましたが、
何も言わずに なぐさめてくれました。

その夜。町はずれにあるひみつの場所に
つれていってくれました。

「こんなところがあるなんて知らなかっただろう？」

「うん、ぜんぜん知らなかった!!」

「この世界には ぼくたちが知らないことが
たくさんあるんだ!!」



10 年後。

きゅうちゃんは とても 立派な
セラピストになりました。



「だから あせらなくて 大丈夫。」

「自分の正しいと思ったことを信じていれば
きゅうちゃんなら きっと 誰かの力になれるよ。」

2 コマ目授業—学習者 13 の作品例

孤独な王様

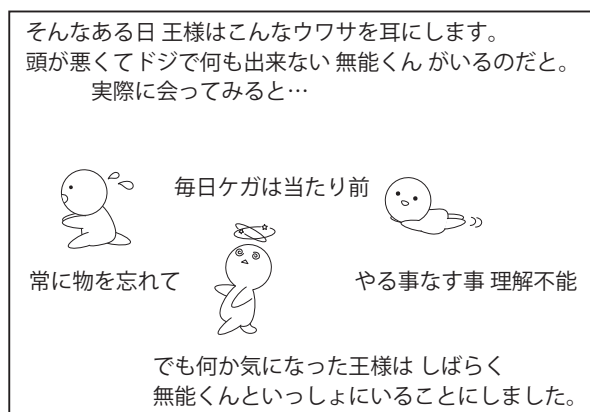
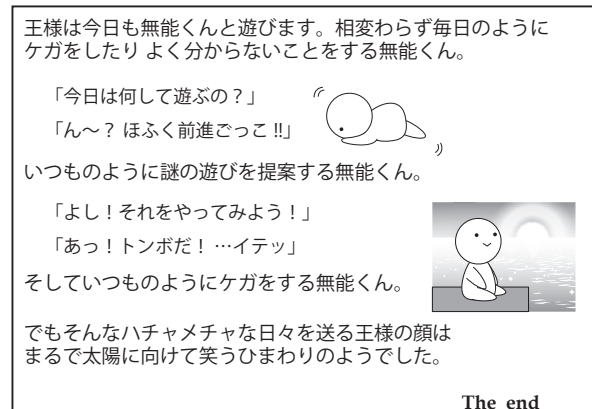
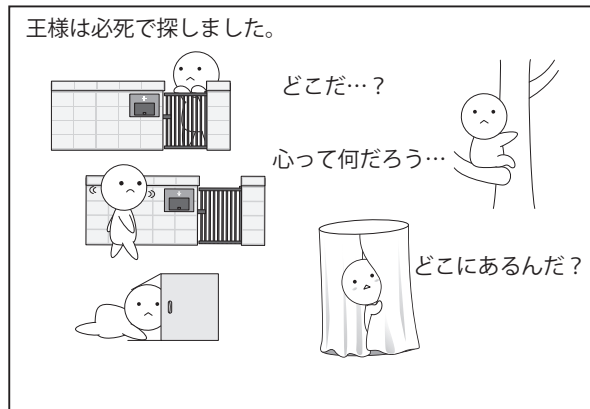
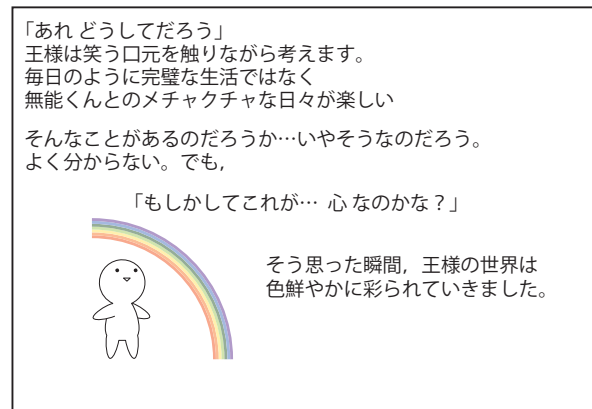
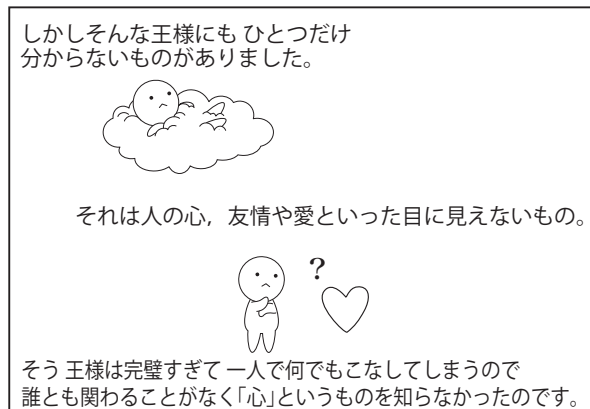
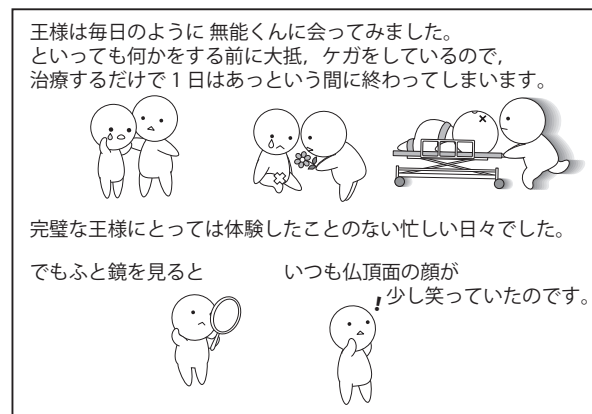
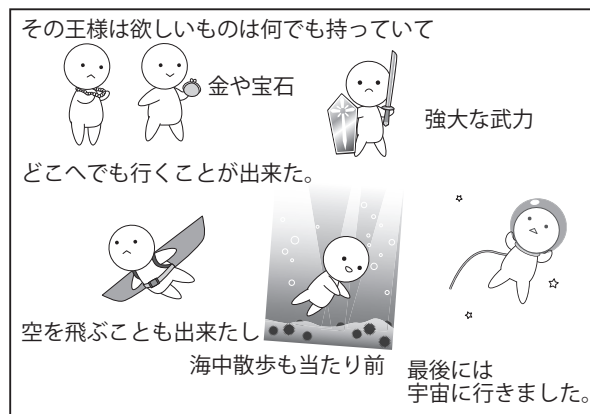
～彩りある世界～



それから きゅうちゃんは
色んなことに 挑戦しました。

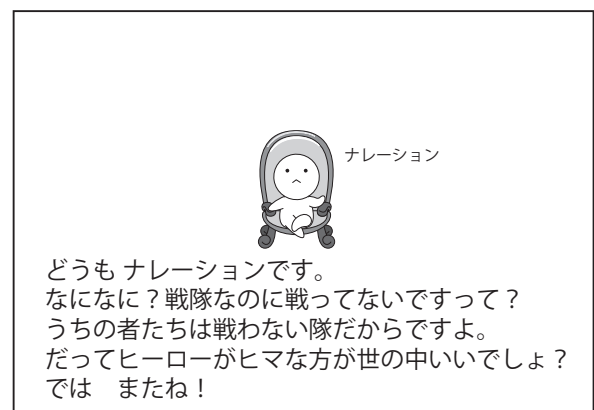
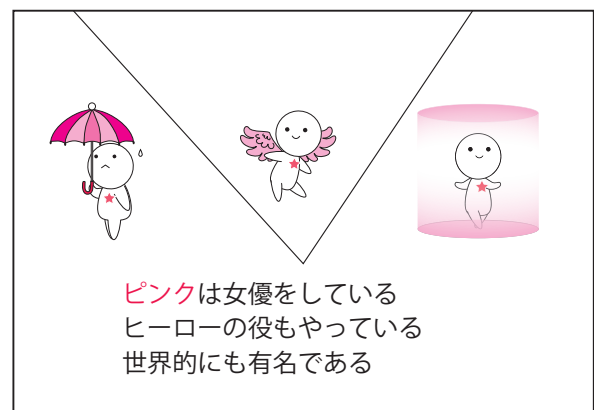
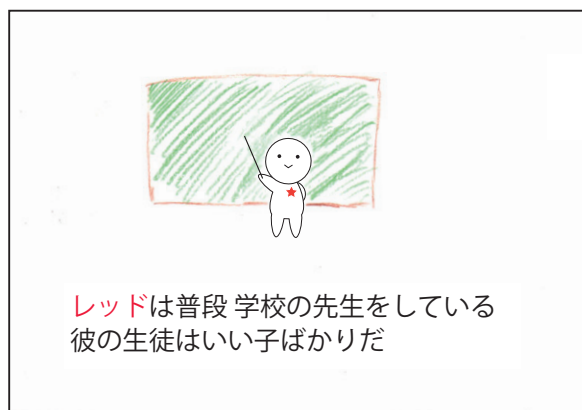
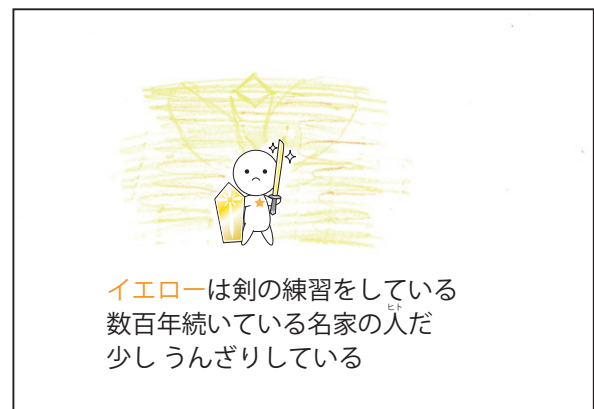
とある国にとっても頭の良くて何でもできるけど
いつもひとりぼっちの王様がいました。





2 コマ目授業—学習者 14 の作品例





2 コマ目授業－学習者 15 の作品例

キュウと宇宙人

とある所にキュウと呼ばれる人間がおった。キュウは星を見るのが好きな子である。そして今日も…

ヒュ〜 キラーン。
「あ、流れ星だ。願いごとを言わないと。
え〜と……」
ヒュ〜ゴゴゴゴ〜
「ん？なんだあれ？」



ド~~~~ン !!!

「うわあ、な、なんだ!?!」



キュウが星を見ている中、突然、空から何かが落ち、そのまま地面に激突した。

「何が降ってきたんだろう？」



キュウは下をのぞいた。すると、

「あっ!!」



ポワ~~~~ン。 シュ~~~~。



キュウが下をのぞくとなんと円盤状の物体から宇宙人が出てきた。

「ココガ チキュウ……」
宇宙人があたりを見渡しながらかうつぶやく。

「どうしよう…宇宙人が…!?!」
キュウは慌てた。ナゾの円盤状の物体から宇宙人が出現し、キュウはパニックになった。すぐに人を呼ぶべきか、それとも自分の身を優先すべきかと。すると、

「ウ」

宇宙人がそのような声をあへ、気付いたキュウがその方を見ると、「オロロロ〜。」



宇宙人は嘔吐していた。

「大丈夫？」

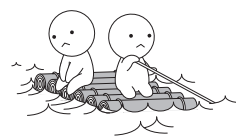
「ハイ…ダイジョブデス。」

キュウは嘔吐した宇宙人に近づき背中をさすった。

話によると、この宇宙人は地球へと旅行に行く途中、隕石との衝突をさけるべく高速ワープを使い、その影響により気分を悪くしたという。そして先ほどに戻る。



それからキュウと宇宙人は仲良くなり、色々な場所で遊んだ。海ではいかだの上に乗って海を見たり、



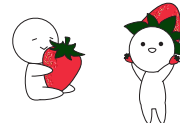
「あ、鯨だ！」

「エ!? ドコデスカ!?!」

「あ、サメだった。」

「ヒョエ~~~~~!!」

またあるときは、とある村でイチゴ狩りをしたり、



「オイシイデス。」

「見て〜、イチゴのマクラ〜。」

「ファ〜、フカフカデス！」ギュー

そして、別れの日。

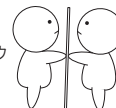
「キュウチャン。」

「なに？」

「ワタシ、キュウチャンノコトイッショウ

ウスレマセン。」

「僕もだよ。」



キュウと宇宙人。それぞれはもう固い絆で結ばれた親友になった。宇宙人は乗り物に乗り、



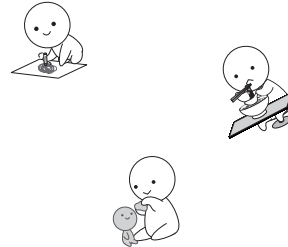
「アリガトウ。ダイスキデス!!」
そう言い、宇宙人は帰った。

キュウはこの日のことを一生忘れないだろう。
あの宇宙人との思い出を。その証拠に、
空を見続けているキュウがいる。



～Fin～

そんなキューちゃんは、
お家に帰ると、大好きな
ご飯を食べたり、人形と
遊んだり、絵を描いたり
していました。



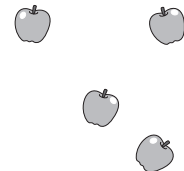
2 コマ目授業－学習者 16 の作品例



キューちゃんが 人気者になった理由



お家で遊ぶのも楽しくなくなって
外に出てモグラを見ていると、
遠くにリンゴがたくさんある
ことに気がしました。



ある日、人見知りのキューちゃんは
みんなが遊んでいるのを見ている
だけで、中々一緒に遊ぶことが
できずにいました。



このリンゴを使って、なにか自分にしか
できないことをしてみようと思い、
たくさん練習しました。

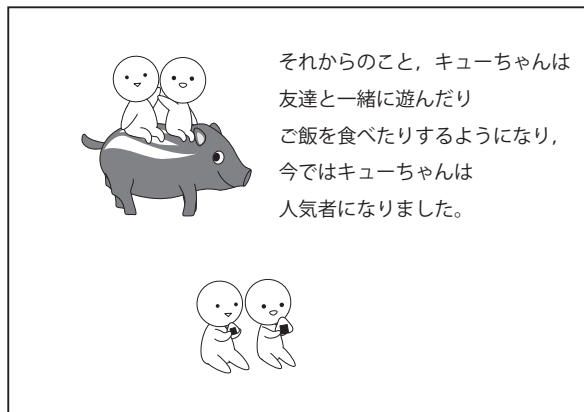


お母さんがむかえに来てくれて
泣きながら、今日も友達の輪に
入れなかったことを言いました。



その姿を見ていた人たちがすごいと
感じ、拍手をしたりしてキューちゃんを
たたえました。
キューちゃんはとても喜びました。





II-3 相互評価

「イラストレーター」およびパワーポイントで体裁を整えるのに時間を要したため、作品制作の2週間後に相互評価を行った。これは次のように行った。まず、授業者石田が選出した11作品をスライドショーを用いて読み上げ形式で発表した。その後、印刷した11作品を各自に配付し「いいな」と思った3作品にコメントを書いてもらった（記入欄を配置したワークシート使用）。コメントは作者ごとに集計し綴じて次回返却した。本論文で紹介した5つの作品に対するコメントを1つずつ紹介しておく。

学習者 12 の作品に対するコメント例

進路に迷っている人に読ませてあげたいと思いました。私も少しずつがんばって良いセラピストになりたいです。

学習者 13 の作品に対するコメント例

足りているから足りない者を引き合わせるという王道的なストーリーになりつつも、心という主題で少し変化をつけている。そのように王道ストーリーの深入りのしやすさを使うことで、読みやすくするというセンスがすごいと思いました。

学習者 14 の作品に対するコメント例

5人の戦隊がそれぞれ個性があっていいと思ったし、戦隊なのに戦わない発想も意外でよかったと思う。最後の「提供」にも遊び心が感じられて面白い。

学習者 15 の作品に対するコメント例

擬音語が多く子供受けすると思いました。これがラブストーリーなのか、友情ものなのかで、最終シーンの見方が変わるのもおもしろいと思いました。

学習者 16 の作品に対するコメント例

努力することは僕はとてもいいことだと思います。練習することによって自分の中で何か得られるものがある。今回は友情という大きい存在を得ることができてきゅうちゃんは幸せそうです。

III. 考察と今後の課題

紙数の都合で5つの事例しか紹介できなかった。しかしそれらは次のような内容になっている。「医療従事者としてのアイデンティティを獲得していくおはなし（学習者12の作品例）」「人としての心のあり方を問いかけているおはなし（学習者13の作品例）」「平和を考える内容を取り上げているおはなし（学習者14の作品例）」「自分とは異質な者との友情に関するおはなし（学習者15の作品例）」「主人公が努力を重ねて成長していくおはなし（学習者16の作品例）」。これらの事例からわかるように、医療従事者が深く考えていくべきテーマをもった絵本が「創造」されている。今回の実践では学習者たちに対して、作品を「創造」するだけでなく、未来の自分を「創造」していく時間も提供できていたと思われる。

今回は理学療法専攻学生・作業療法専攻学生を対象とした授業であった。同じく医療従事者になる看護学専攻の学生たちに今回開発した授業プロ

グラムを実施してみるのが今後の課題である。

文 献

Finke 他邦訳 1999 『創造的認知—実験で探る
クリエイティブな発想のメカニズム—』森北
出版

文部科学省 2017 「看護学教育モデル・コア・
カリキュラム～『学士課程においてコアとな
る看護実践能力』の修得を目指した学修目標
～」

文部科学省 2011 「大学における看護系人材養
成の在り方に関する検討会最終報告」

日本看護系大学協議会 2018 「看護学士課程教
育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達
目標報告書」

鹿内信善編著 2010 『看図作文指導要領—「み
る」ことを「書く」ことにつなげるレッスン—』
溪水社

注 1 本研究の一部は日本協同教育学会
第 16 回大会で発表した。

注 2 本研究を行うにあたり科学研究費
19K10791 の助成を受けた。

2019 年 11 月 1 日受付

2019 年 11 月 11 日査読終了受理